

# 大会宣言(案)

近年、私たちを取り巻く環境は、社会構造や経済情勢の目まぐるしい変化への対応、グローバル化の進展やデジタル等の技術革新の発展のほか、人々の価値観の多様化など、著しい変化が生じている。

さらに、少子高齢化に伴う人口減少や地球環境の変化による度重なる豪雨や猛暑などの異常気象、物価高騰の長期化などが、私たちの生活や経済に大きな影響を及ぼし、人々は不安の中での暮らしを強いられている。

このような変化の激しい時代にあって、社会・経済の状況を的確にとらえ、豊かさと生きがいに満ちた県民生活の実現を図り、必要な支援が県民に届く社会を築くための基盤として、統計調査の果たす役割はますます重要性を増してきている。

一方、個人情報に対する意識の高まりに加え、コロナ禍による意識の変化が、人と人との対面での接触を困難にし、面接の難しい世帯が一層増加するなど、統計調査を取り巻く環境は厳しさを増している。

このような中、多くの県民が統計に対する関心を高め、統計のもつ役割や重要性について理解を深めるためには、積極的な広報・周知を行うとともに、統計調査員相互の連携を強化し、より一層の理解と協力を得ることが重要である。

本日、第50回山形県統計大会に参加した私たち統計調査に携わる者は、統計に課せられた使命と責務の重要性を再確認するとともに、時代に即した統計を通じて豊かな郷土づくりに貢献できるよう、日々研鑽を積み、正確な統計調査の実施を目指して一層努力していくことをここに宣言する。

令和6年11月29日

第50回 山形県統計大会